

普及活動情勢報告（平成30年2月）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

更なる収量・品質の向上を目指して・・・幡多地区環境制御技術研究会・・・	
 今年の成果は？	2月19日、幡多農業振興センターで幡多地区環境制御技術研究会を開催し、生産者18名が参加しました。 農業改良普及課からは、環境制御技術導入による成果発表を行い、その後生産者を交えて生育調査の手法や目的、現状について意見交換を行いました。生産者間での意見交換も行われるなど環境制御技術への関心の高まりを感じました。 農業改良普及課は、今後も研究会活動を支援し、施設園芸産地の強化に取り組めます。

先輩農業者から学ぼう！・・・新規就農者事例発表及び青年農業士との交流会・・・	
 研修生に 向けたアドバイスを！	1月25日、四万十農園あぐりっこで管内の農業研修生、新規就農者を対象に新規就農者の事例発表会を開催し、39名が参加しました。 2名の新規就農者（就農3年目、8年目）から就農するまでの経緯や道のり、現在の取り組み内容について説明がありました。その後、管内の研修生や新規就農者、青年農業士との交流会を開催しました。 農業改良普及課は、研修生、新規就農者の意欲向上に向けて、今後も有意義な研修会を企画していきます。

四万十ぶしゅかんの生産量増加に向けて！・・・ぶしゅかん栽培講習会開催・・・	
 ブランドの確立に 向けて	2月6日、四万十市中央公民館においてぶしゅかん栽培講習会を開催し、生産者37名が参加しました。 農業改良普及課は、見直しを行った栽培マニュアルをもとに収穫開始年からは農薬を一切使わない栽培方法を指導しました。 参加者から不安の声もありましたが、「四万十ぶしゅかん」ブランド確立のため全員で取り組むことが確認されました。 農業改良普及課は、今後生産量増加に向け定期的に講習会を開催して行きます。

オクラ栽培講習会・・・JA 高知はた宿毛支所オクラ部会、中村支所オクラ部会・・・



技術向上を
目指そう！

2月6日に宿毛支所、15日に中村支所でオクラの栽培講習会を開催し、延べ75名の生産者が参加しました。

農業改良普及課からは、三尺ソルゴーのほ場周囲への植栽による土着天敵の活用と初期生育を安定させるセル苗育苗の長所と短所について説明しました。

生産者からは三尺ソルゴーと一般的なソルゴーとの違いやセル苗育苗をする場合の播種時期や覆土について質問がありました。

農業改良普及課は、他の支所でもセル苗育苗とソルゴー植栽について説明し、取り組み面積の拡大を目指します。

市場に選ばれる産地に！・・・テッポウユリ現地検討会・・・



1月の検査結果は…

2月8日、JA 高知はた大方花き園芸部テッポウユリ部会が現地検討会を開催し、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課からは、1月の出荷物検査結果をもとに、束作り作業によるキズについて発生防止を呼びかけました。現地ほ場では出蕾後の温度、かん水管理についてベテラン生産者の意見を聞きながら生産者への指導を行いました。

生産者からは、他の生産者と比べ自分のユリが固さが足りないことを実感し、かん水管理を気をつけるようにしたいといった声が出ました。

農業改良普及課は、市場事故ゼロ継続に向けた取り組みや部会内での技術の共有ができるよう支援していきます。

ユズの青果率向上に向けて・・・JA 高知はた三原支所ユズ部会剪定講習会・・・



水平方向からの光が
内部に入る樹形に！

2月13日、三原村農村構造改善センターと現地園地で剪定講習会を開催し、25名が参加しました。

農業改良普及課は、青果率向上に向けて情報提供し、現地で実演しながら、不完全な開心自然形の矯正方法や果実を傷つけてしまう徒長枝を発生させない方法などについて説明しました。

参加者は、上向き徒長枝の除去時に基部が残る悪いクセが青果率に影響していることに気づくなど栽培意欲が高まった様子でした。

農業改良普及課は、今後も個別巡回で剪定状況を確認していくなど、ユズ青果率の向上に取り組んでいきます。

基盤整備後の農地集積を目指して！・・・四万十市利岡ファーム設立総会・・・



利岡集落の農地を
守っていきます！

2月15日、四万十市利岡集落にて、生産者、地域住民、関係者等合わせて23名が出席し、「利岡ファーム」の設立総会が開催されました。

組合員数は14名で、現在、利岡集落で進んでいる基盤整備事業における農地集積の主体となる予定です。

初年度は、水稻40aの協業経営を行い、将来的には、法人化し更に地域の農地集積を行う計画です。

農業改良普及課では、今後、組織の運営や法人化に向けて支援を行っていきます。

キュウリ産地の維持・拡大に向けて・・・新規就農者確保対策チーム会・・・



生産部会の意識を
どう変えていこうか...

2月16日、土佐清水市役所で担い手確保に向けたチーム会を開催し、農業改良普及課、関係機関職員の6名が参加しました。

農業改良普及課からは、現在の研修生の就農までのサポート方法や、新たな就農希望者をどうやって呼び込み受け入れていくかについて問題提起し、他産地の事例を踏まえながら意見交換を行いました。

農業改良普及課は、今後関係機関、生産者と連携して、産地の維持・拡大に向けた仕組み作りに取り組んでいきます。